

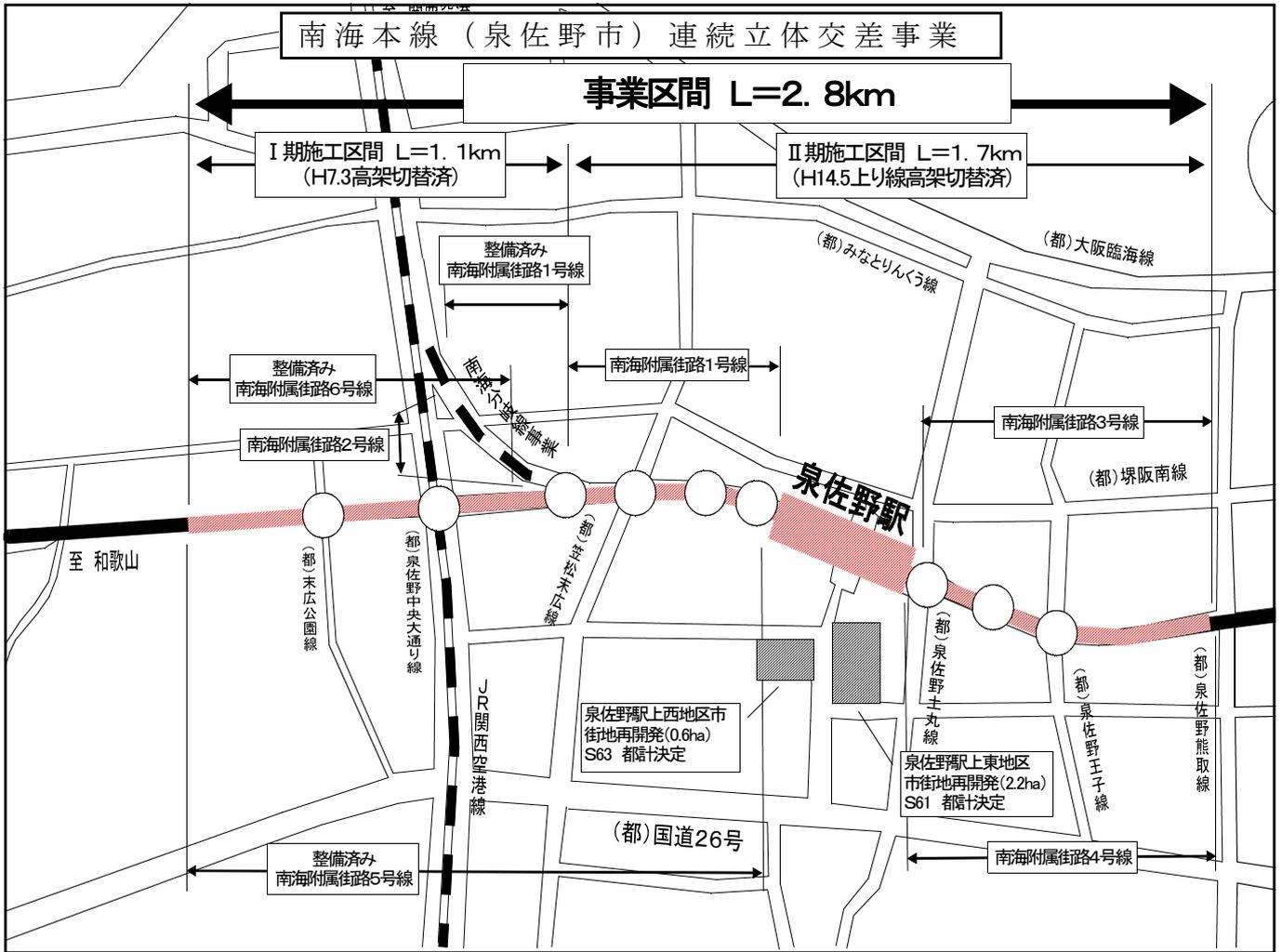
再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：都市・地域整備局 街路交通施設課
担当課長名：松井 直人

事業名 南海本線連続立体交差事業（泉佐野駅付近）	事業区分 街路	事業主体 大阪府
起終点 自：大阪府泉佐野市湊1丁目 至：大阪府泉佐野市東羽倉崎町		延長 2.8 km
事業概要 当該路線は、南海本線の泉佐野駅付近の約2.8 kmにおいて鉄道を高架化することにより、9箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図ることなどを目的として策定された事業である。		
S62年度事業化	S62年度都市計画決定	S62年度用地着手
全体事業費 533億円		事業進捗率 98%
踏切交通量 44,002台/日		供用済延長 km
費用対効果分析結果	総費用 (事業費) 4.8/405億円 (事業維持管理費) 0.00/0.00億円	総便益 (走行時間短縮便益) 797/797億円 (走行経費減少便益) 67/67億円 (交通事故減少便益) 0.00/0.00億円
B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 179.3		基準年 平成20年
感度分析の結果 ・感度分析を行ったが、費用対効果分析結果に問題なし。		
事業の効果等 ・鉄道高架化が完了後、踏切が除却され踏切事故の解消、踏切遮断時間が解消され交通渋滞の緩和が図られる。 ・鉄道高架化することにより、市街地の分断が解消される。 ・駅及びその周辺施設の整備に合わせバリアフリー化が促進される。 ・高架下に公共施設や商業施設が整備され、地域住民の利便性が地域のふれあいの場の創設などの効果が期待できる		
関係する地方公共団体等の意見 地域住民の事業に対する理解は深く、事業の早期完成に対する要望が強い。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年度に鉄道高架化が完了し、9箇所の踏切除去により、踏切遮断時間が解消され、交通渋滞緩和の効果が発現した。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 再々々評価時点において、進捗状況は用地100%、工事98%となっている。 残事業として、側道整備工事を進捗中		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成22年度末の側道整備完成に向けて工事中。		
施設の構造や工法の変更等 駅舎部（ホーム部）の整備計画を4面5線から、3面4線に構造変更したため、工事費が減額となった。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性が認められ、かつ、事業進捗上も特段の支障がないと考えられるため、「事業継続は妥当」		
事業概要図		
次ページ		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図



凡例
○ その他の踏切